

子どもの事故のとらえ方

「事故」に対する考え方の推移

以前は「事故」

最近は「傷害」

Accident



Injury

(予測できない、
避けられない事象)

(予測ができ、
予防可能な事象)



事故に対する意識を変える

子どもの傷害を確実に減らす その1

傷害を科学的にとらえ、**分析**（過去の傷害事例のデータから）

1. 重症度が高い傷害
2. 発生頻度が高い傷害
3. 増加している傷害
4. 具体的な解決策があるもの



予防活動の実践

子どもの傷害を確実に減らす その2

予防を実践した結果は、**データの収集と評価**

1. 発生数・発生率の減少

2. 重症度の軽減

(通院日数、入院日数、医療費など)



予防活動の評価は必ず数字で検証

日本スポーツ振興センター災害共済給付

	発生件数 (件)	発 生 率 (%)					
		保育所等	こども園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
2014年	1,088,487	2.15		1.73	5.83	10.93	7.76
2015年	1,078,605	2.16	2.15	1.72	5.73	10.86	7.93
2016年	1,053,962	2.17	2.09	1.70	5.58	10.57	8.01
2017年	1,030,882	2.22	2.14	1.78	5.49	10.28	8.02
2018年	991,013	2.30	2.29	1.79	5.36	9.78	7.81
2019年	959,714	2.30	2.35	1.79	5.23	9.39	7.78
2020年	746,913	2.32	2.38	1.71	4.17	6.86	6.06